

～だれでも自由に参加して、いろいろなことにチャレンジしてみよう～

## 海田町放課後子ども教室 【海田町】

### 教室の概要

- 放課後の子どもの健やかな活動場所であるとともに、地域住民等の学習成果の還元の間とする。
- 年間登録制とせず自由参加とし、だれでも参加できる環境とする。

【開始年度】平成23年度（10月）

【実施校区】町内4小学校区

【開催場所】海田東公民館（第1水）・福祉センター（第2水・第4土）・ひまわりプラザ（第3水）

【開催日・開催時間】

《定期プログラム》原則第1・第2・第3水曜日（15:30～17:00）

《特別プログラム》原則第4土曜日（10:00～12:00）または  
第4水曜日（長期休業中）（15:30～17:00）

【コーディネーター人数】1人

【安全管理員人数】2人

【学習アドバイザー人数】8人

【ボランティア人数】3人

【年間開催日数】2教室で全46日（※平成24年度開催日数）

【参加学年・平均参加人数】小学校1～6年 30～35人

### 活動内容

教室での活動は、定期プログラムと特別プログラムで構成している。

定期プログラムについては、原則第1・第2・第3水曜日に会場（3会場）を変えながら同じ活動内容で行う。

特別プログラムについては、月に1度、原則第4土曜日に開催している。

活動内容は、月ごとに変更し、自然・創作・ふれあい・スポーツ等さまざまな体験活動や学習活動を展開している。

実行委員を中心に活動しているが、内容によって公民館講座生、地域住民、大学生ボランティアチーム（ワクワク学び隊）等の支援を依頼している。

《平成24年度活動プログラム》

月	定期プログラム	特別プログラム
4月	アイロンビーズ	
5月	よもぎ団子作り	ヒップホップダンス（ワクワク学び隊）
6月	七夕かざり作り	国際交流・インドネシアの文化や遊び（ワクワク学び隊）
7月	シャボン玉遊び	楽器作り（ワクワク学び隊）
8月	水でっぼう作り	実験（ワクワク学び隊）
9月	月見団子作り	アカペラ（ワクワク学び隊）
10月	ユニカール	レクリエーション（ワクワク学び隊）
11月	凧作り	工作（ワクワク学び隊）
12月	お正月かざり	英会話・絵本の読み聞かせ（ワクワク学び隊）
1月	絵馬作り	実験・工作（ワクワク学び隊）
2月	蒸しパン作り	ペタンク
3月	昔遊び	

## 運営上の工夫

- 自由参加型の放課後子ども教室  
登録制にすると、限定された児童のみの参加となるため、自由参加としている。
- 社会教育施設等の活用  
集団下校に支障をきたさないよう、学校を会場とせず、児童が放課後等に集まっている社会教育施設や社会福祉施設で教室を実施している。
- 実行委員会によるプログラムの企画・立案  
スタッフ（コーディネーター・安全管理員・学習アドバイザー）で実行委員会を組織し、月1回の定例会で、年間活動計画の企画・立案、月々のプログラムの詳細の検討や活動の反省点等を含め、活発な議論を行っている。
- 広報の工夫  
児童への周知方法として、実行委員会でお知らせチラシを毎月作成し、町教育委員会で印刷し、各小学校等へ配布を依頼している。また各施設にお知らせチラシを設置している。（年度初めに1年間の予定チラシを配布し、詳細については、毎月お知らせチラシを発行。）
- 児童クラブとの連携  
児童クラブとの連携に関しては、担当課へお知らせチラシを配布し情報提供を行い、参加希望があればなるべく受け入れるように配慮している。

## 事業を実施して

### 【参加者の声】

（児童の声）

教室に来れば友達がいるのでうれしい。色々なことができるし、友達やおじさん、おばさんと一緒に活動できて楽しい。

（保護者の声）

異学年（異年齢）とも触れ合えるし、家庭ではできない経験ができるので参加させた。

（スタッフの声）

私たちも子どもたちと一緒にあって、楽しんで活動している。



～みんなで、わいわい、おやつ作り～

### 【成果と課題】

- ・ 現在、平日の下校時刻が定期的に早い日がないうえに、年間計画で年度初めに日程を決定し会場を確保するため、児童の帰宅時刻や学校行事等で、活動時間が短くなったり、参加しにくい状況になったりしている。また、集団下校ということもあり、一旦帰宅してからの集合となり、会場への到着時刻もバラバラなため、臨機応変な対応が必要となる。
- ・ 材料に限りがある活動内容のものについては、未登録制のため参加者数の判断ができず、材料の準備が難しい。
- ・ 活動日が固定された曜日のため（定期プログラムの場合は水曜日、特別プログラムの場合は土曜日または水曜日）、習い事等と重複し参加できない児童がいる。

